

奈良県の現状

■ 一般的現状

• 奈良県の概要	1
• 奈良県の人口推移	2
• 奈良県の将来推計人口（年齢3区分）	3
• 奈良県の将来推計人口（高齢者人口・比率）	4
• 工業系用途地域面積割合	5
• 事業所数・従業員数	6
• 県外就業率	7
• 県税収における法人事業税の割合	8
• 歴史・文化遺産の数	9
• 宿泊施設の客室数	10
• 観光消費額の状況	11
• 商品販売額	12
• 県外消費率	13
• 健康寿命	14

■ 道路の現状

• 道路の整備率	15
• 一般国道（指定区間）の延長	16
• 4車線道路の整備率	17
• 都市計画道路の整備率	18
• 県民1人当たりの道路延長	19
• 紀伊半島アンカールート	20
• 京奈和自動車道の整備計画	21
• 国道168号・国道169号の整備状況	22
• 無電柱化率	23
• 通学路の安全対策	24
• 交通事故の発生件数	25
• インフラの老朽化	26
• 道路ストックの点検実施状況	27
• 県内・県外通勤の交通機関分担の割合	28
• 鉄道・船舶による貨物輸送量	29
• 令和4年度当初予算の内訳	30
• 奈良県の公共事業予算額（一般会計）	31

奈良県の概要

- 面積は全国の約1%で第40位。
- 人口は全国第29位。
- GDPの全国シェアは約0.7%で第39位。

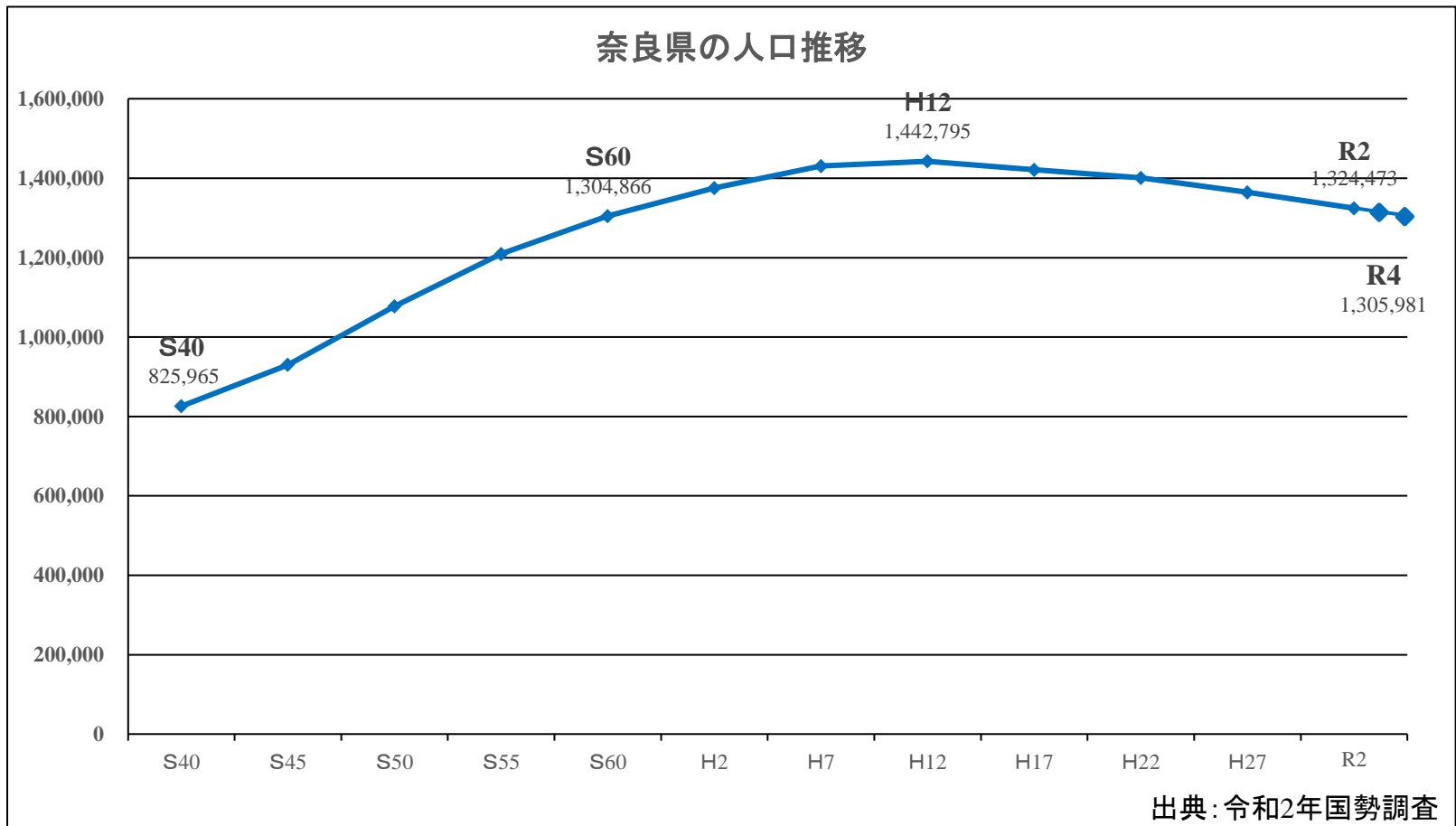
	全国	奈良県	全国順位
面積 ^{*1} (km ²)	377,974	3,691	40位
人口 ^{*1} (千人)	125,502	1,315	29位
GDP〔名目〕 ^{*2} (兆円)	約559.7	約3.9	37位 (R元年度)

*1 社会生活統計指標—都道府県の指標—2023 (R5時点)

*2 令和元年度国民経済計算 (R4公表)

奈良県の人口推移

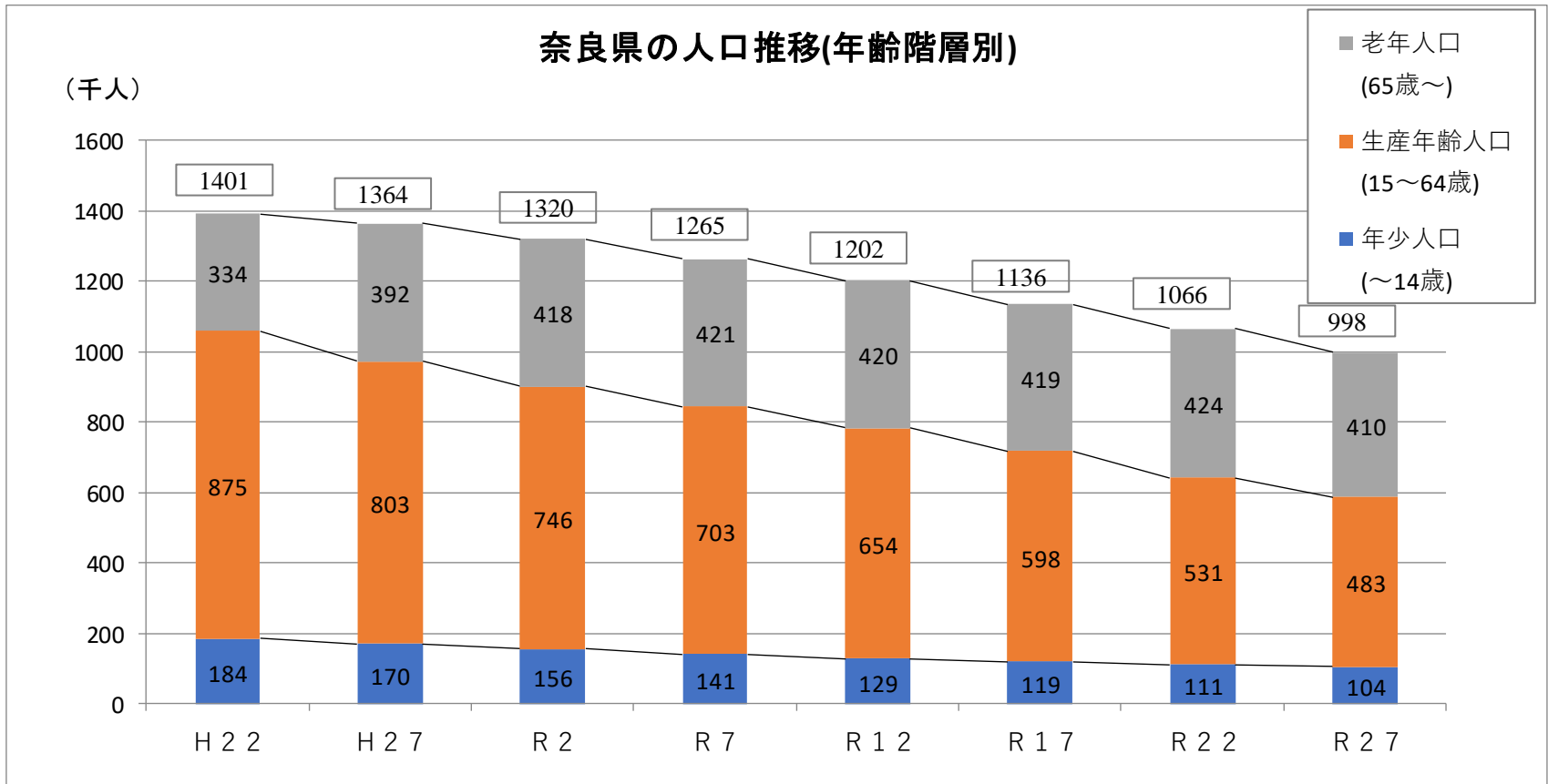
○ 奈良県の人口は、平成12年をピークに減少しており、令和4年は約130万人。



(奈良県の推計人口調査(R4.10時点))

奈良県の将来推計人口(年齢3区分)

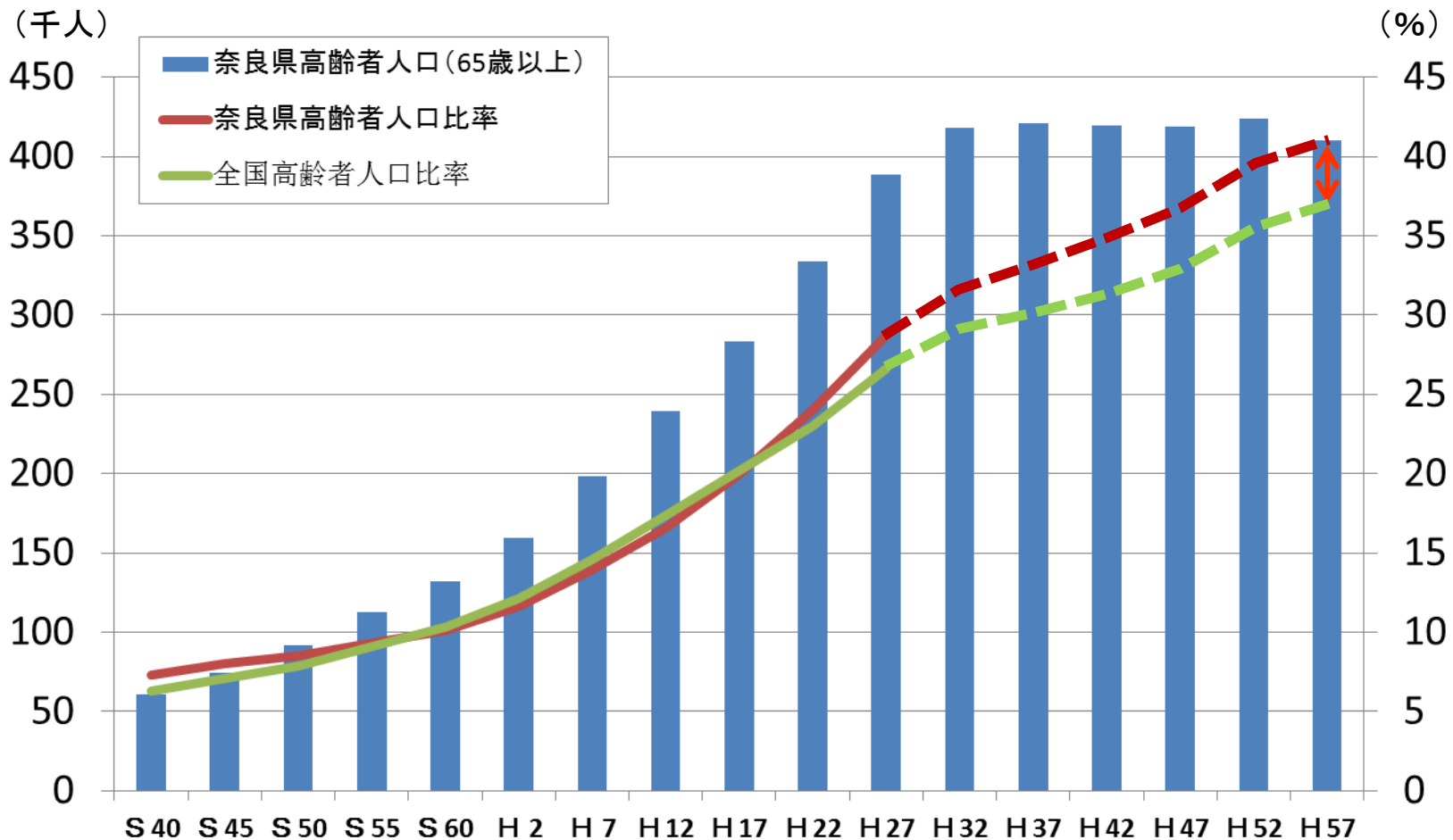
- 奈良県の人口は、H27年136.4万人からR27年99.8万人に減少すると推計。
- 少子高齢化の進展、生産年齢人口が減少傾向。



老年	24.0%	28.7%	31.7%	33.3%	34.9%	36.9%	39.7%	41.1%
生産年齢	62.8%	58.8%	56.5%	55.6%	54.4%	52.7%	49.8%	48.4%
年少	13.2%	12.5%	11.8%	11.2%	10.7%	10.4%	10.5%	10.5%

奈良県の将来推計人口(高齢者人口・比率)

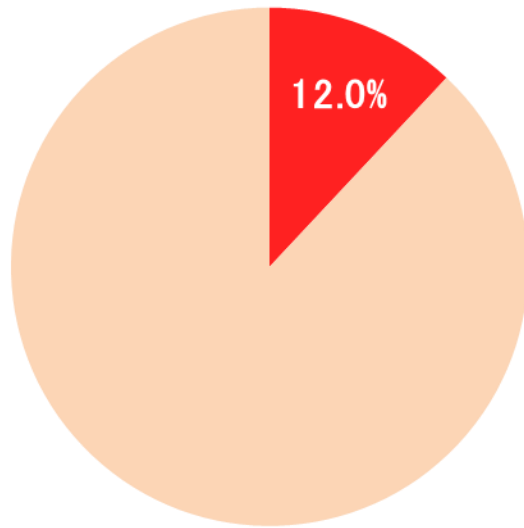
○ 奈良県では、今後全国よりも速いスピードで高齢化が進むと予測。



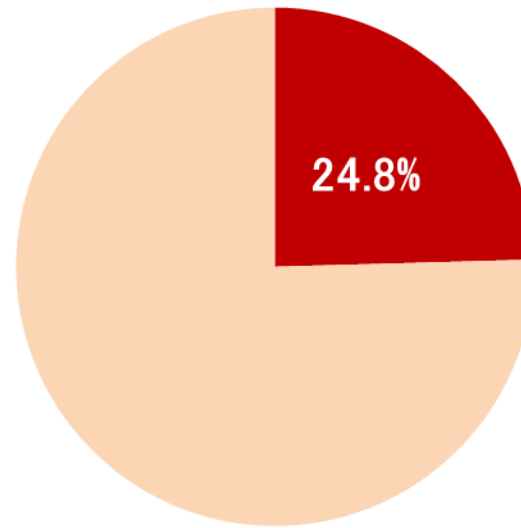
工業系用途地域面積割合

○ 奈良県の全用途地域面積に対する工業系用途地域面積の割合は12.0%で全国47位。

工業系用途地域面積割合(全国47位)



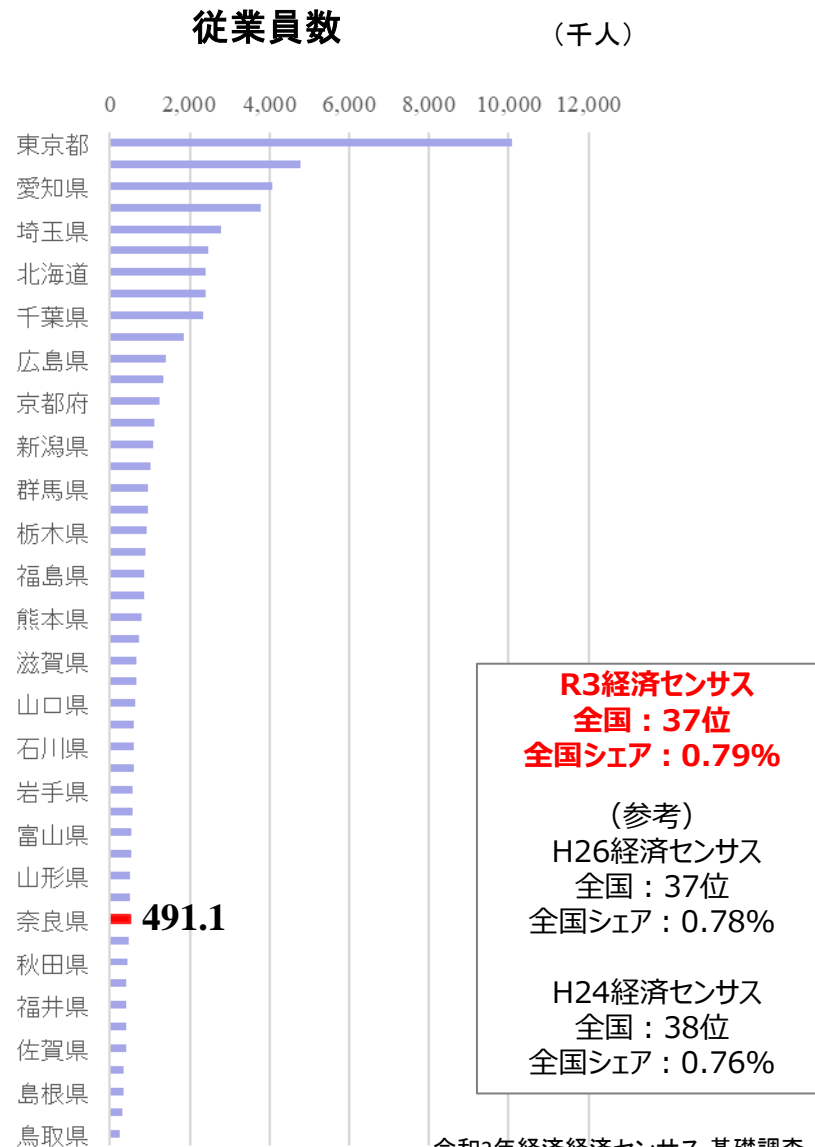
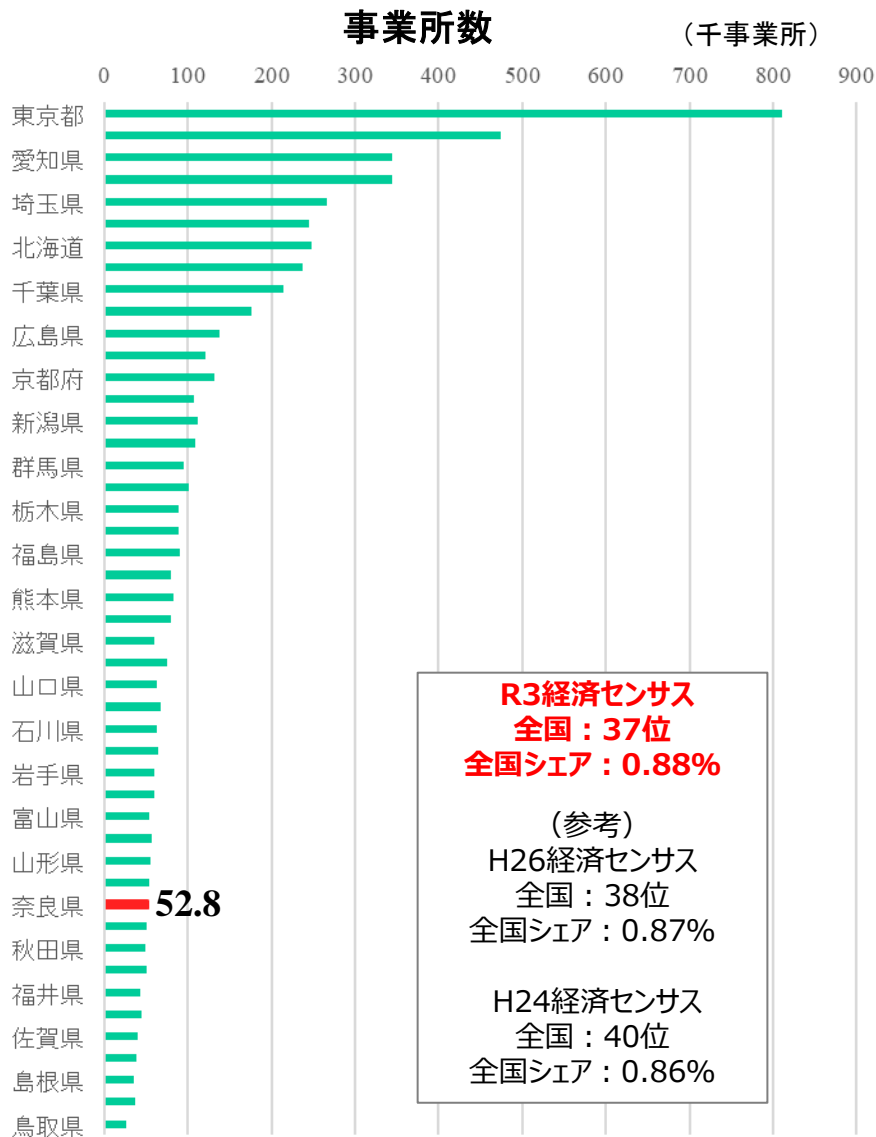
奈良県



全国平均

事業所数・従業員数

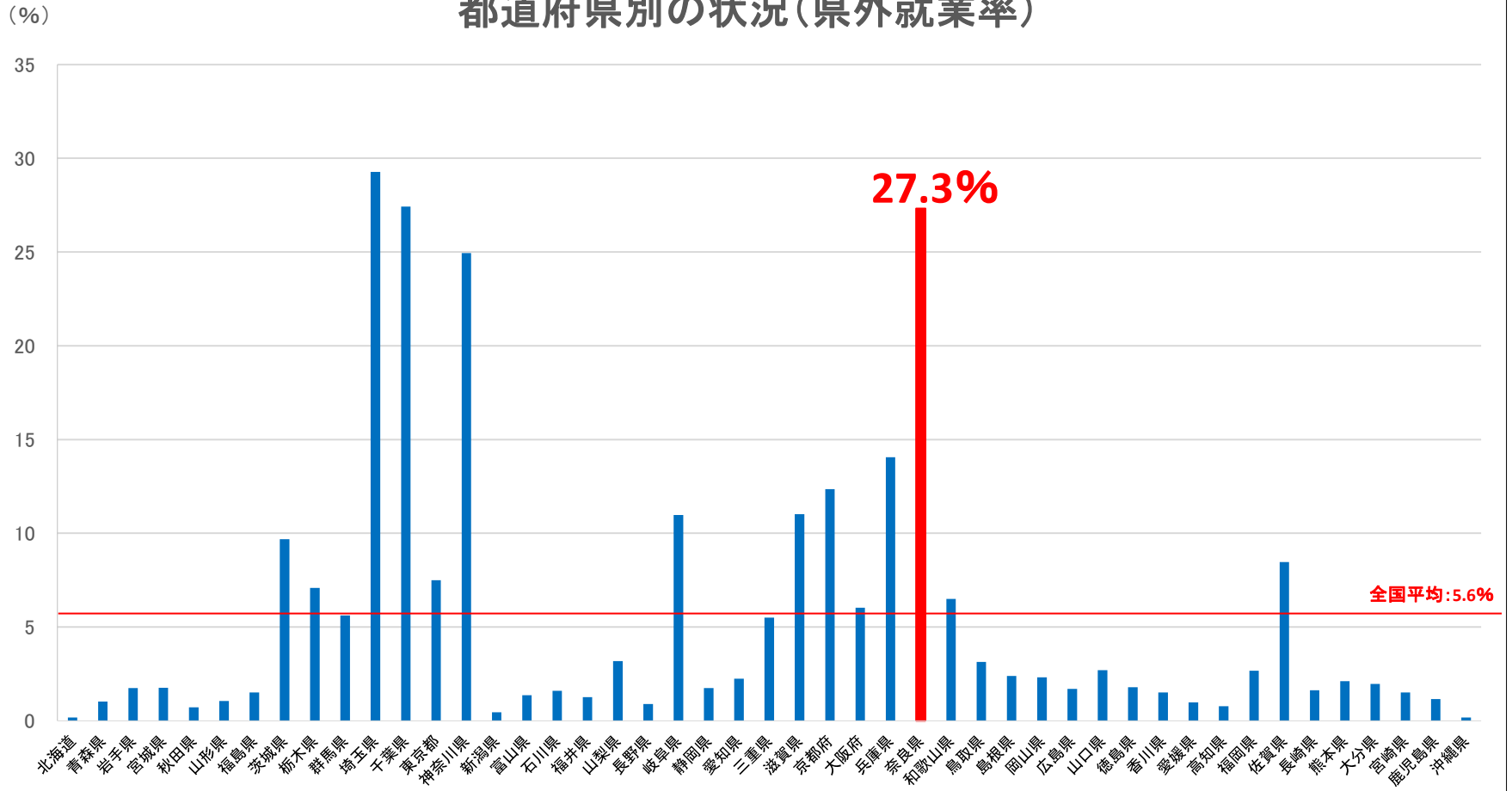
○ 事業所数は全国第37位、従業員数は全国第37位と全国で下位の状況。



県外就業率

○ 奈良県の県外就業率は27.3%で全国第3位。

都道府県別の状況(県外就業率)



令和2年国勢調査

県税収における法人事業税の割合

○ 奈良県の県税収における法人事業税の割合は12.9%で全国ワースト1位。

	大阪	滋賀	京都	兵庫	和歌山	奈良
県税収における 法人事業税の割合	29.2%	21.8%	26.2%	19.9%	16.8%	12.9%
全国順位	1位	10位	2位	24位	39位	47位

〔 地方県税収入のうち、地方消費税の収入額については都道府県間において清算後の額で算出。 〕

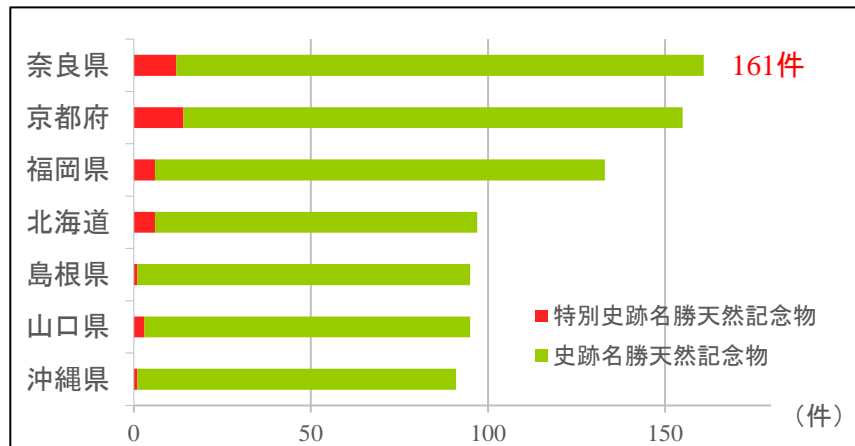
歴史・文化遺産の数（世界遺産、国宝・重文数、史跡数）

- 奈良県の世界遺産は3件で全国1位。（全25件中3件）
- 国宝・重文数は全国第3位、史跡名勝天然記念物数は全国第1位。

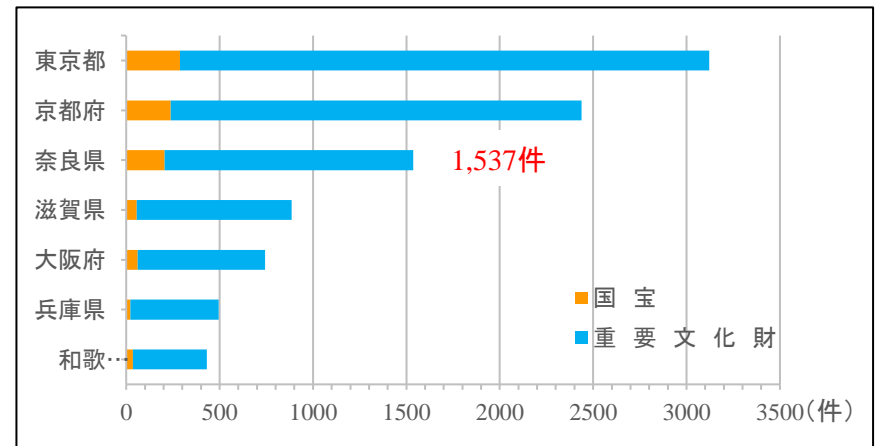
世界遺産	登録時期
法隆寺地域の仏教建造物(奈良県)	1993年12月
古都奈良の文化財(奈良県)	1998年12月
紀伊山地の霊場と参詣道(奈良県、和歌山県、三重県)	2004年7月

国宝・重文、史跡	件数(奈良県)
国宝・重要文化財	1,328件
史跡名勝天然記念物(国指定)	148件

■ 史跡名勝天然記念物



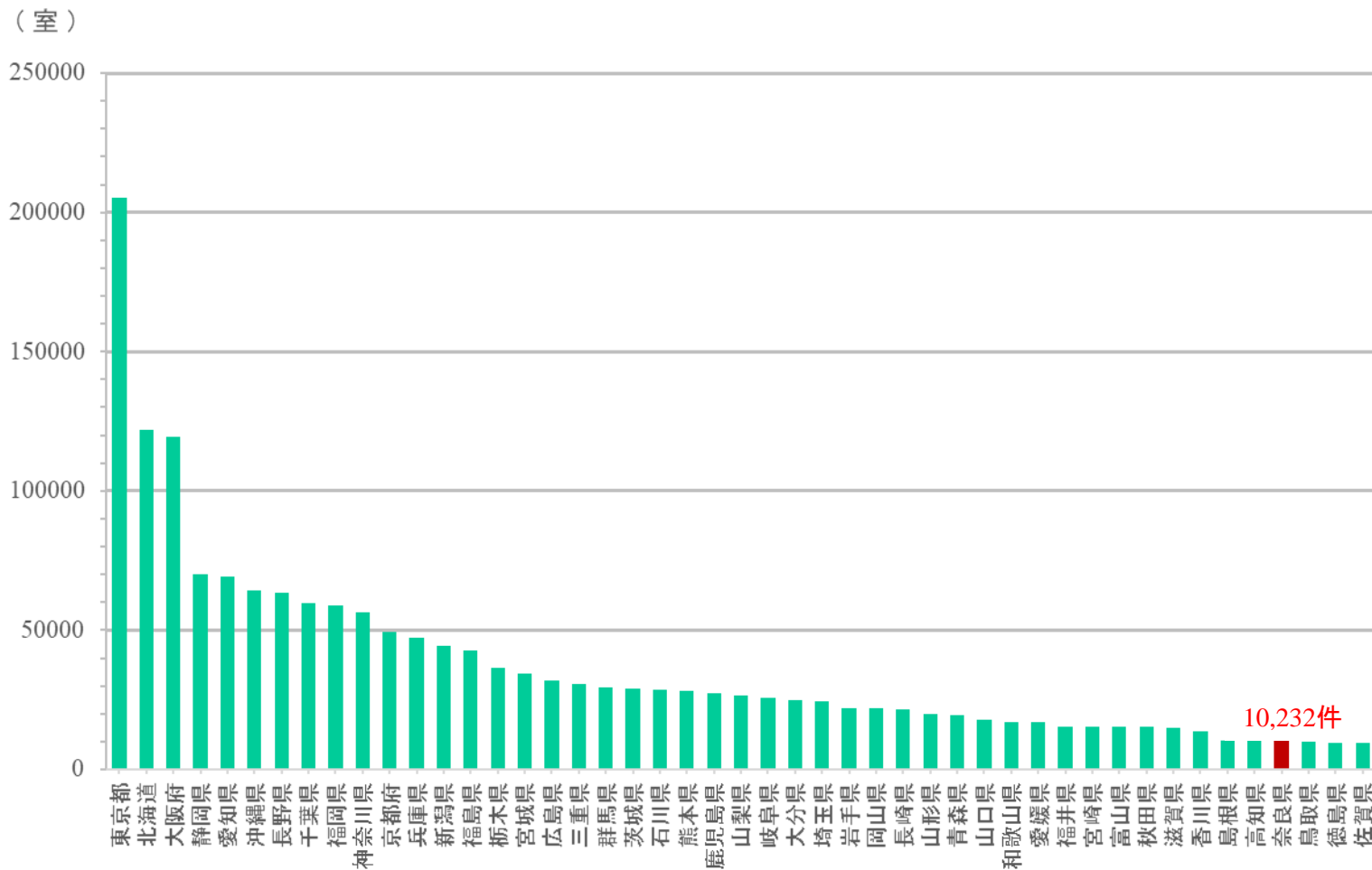
■ 国宝・重要文化財



文化庁「国宝・重要文化財等都道府県別指定件数一覧」(令和5年5月1日時点)

宿泊施設の客室数

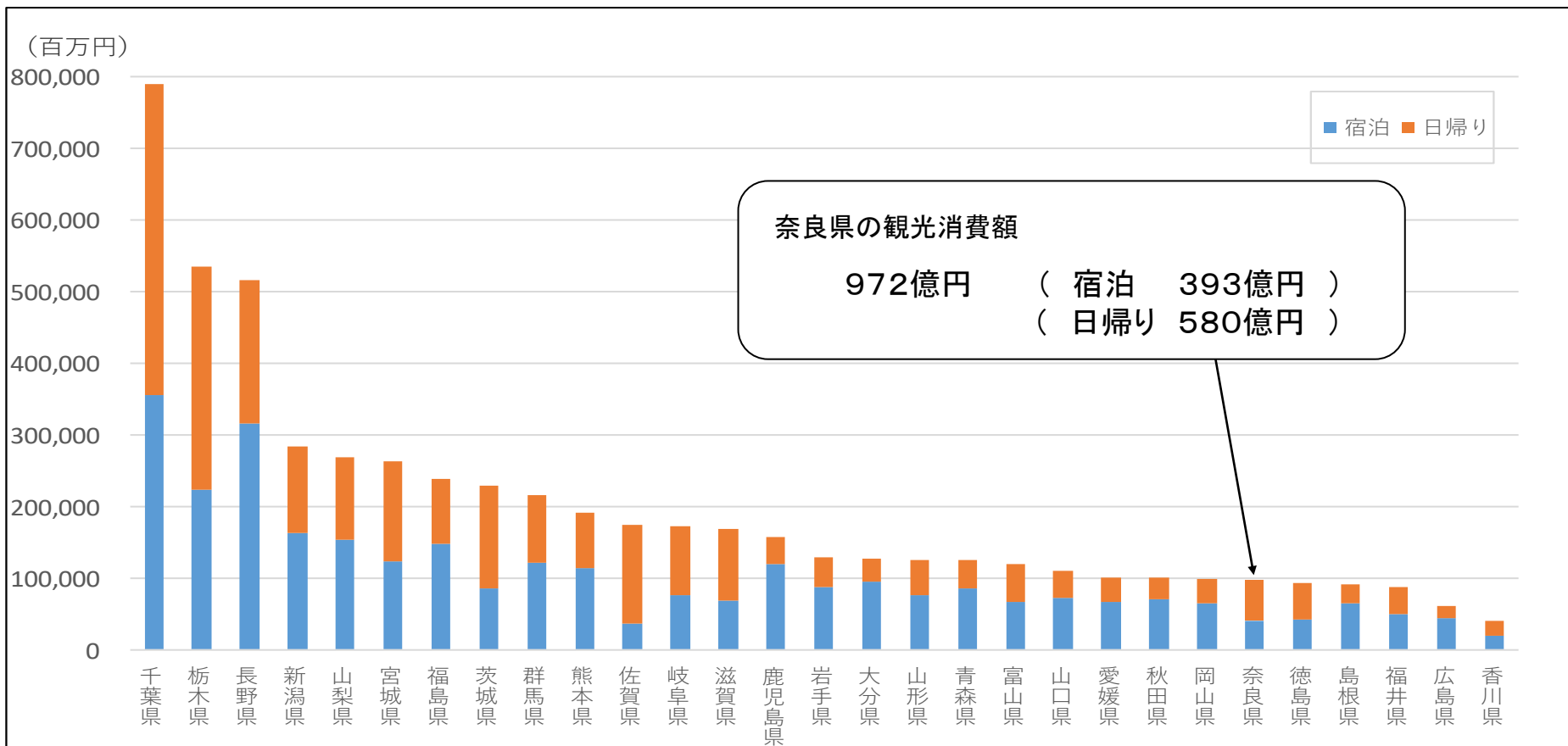
○ 豊富な観光資源を有するにもかかわらず、「ホテル・旅館の客室数」は全国ワースト4位。



令和3年度衛生行政報告例(令和5年1月時点)

観光消費額の状況

- 本県の観光消費額は972億円で全国ワースト6位。
- 宿泊客の観光消費額は393億円で全国ワースト9位

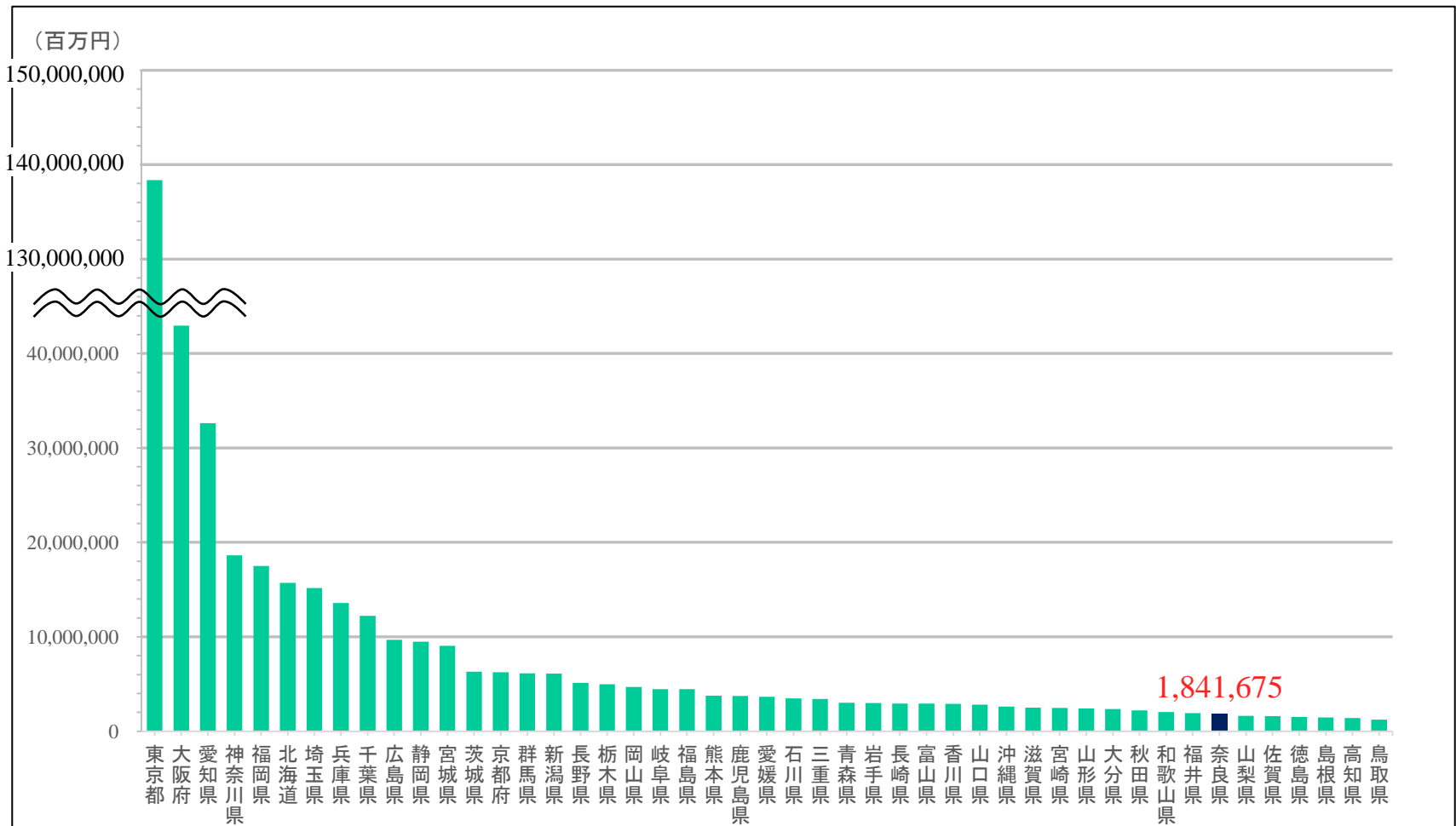


※大阪府は、「共通基準による観光入込客統計調査」を未導入
 ※北海道、埼玉県、東京都、石川県、静岡県、愛知県、三重県、
 京都府、兵庫県、和歌山県、鳥取県、高知県、福岡県、
 長崎県、宮崎県、沖縄県は、集計中。神奈川県は欠測。(R5年5月現在)

出典：共通基準による観光入込客統計(令和3年)

商品販売額(卸・小売業計)

○ 奈良県の商品販売額は、全国ワースト7位。



経済産業省「2020年経済構造実態調査」

県外消費率

○ 奈良県は、県外での消費支出の割合が全国第1位と高い。

「他の都道府県」での購入割合(総世帯)

	順位	都道府県	消費支出 県外での 購入割合(%)
上位 5 県	1	奈良県	19.1
	2	神奈川県	17.2
	3	佐賀県	17.0
	4	埼玉県	16.5
	5	千葉県	15.1

2019年全国家計構造調査家計収支に関する結果

健康寿命

○ 奈良県の健康寿命は、男性は全国第3位、女性は全国第21位。

健康寿命
(平均自立期間)

=

平均余命

-

平均要介護期間

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
〔男性〕										
65歳健康寿命	5位	13位	4位	3位	3位	3位	4位	3位	3位	3位
65歳平均余命	8位	15位	6位	4位	3位	2位	3位	3位	3位	3位
65歳要介護期間	18位	19位	35位	38位	30位	42位	41位	41位	39位	39位
〔女性〕										
65歳健康寿命	32位	40位	33位	28位	18位	33位	25位	24位	25位	21位
65歳平均余命	33位	38位	27位	20位	7位	16位	10位	6位	10位	10位
65歳要介護期間	22位	14位	29位	32位	38位	39位	43位	44位	44位	43位

奈良県健康推進課「奈良県民の健康寿命」(H24~R3)

道路の整備率

高規格幹線道路

	全国	奈良県		
		全体	うち京奈和自動車道	
			全国順位	
計画延長	約14,100km	97.1km	46位	48km
開通延長	約12,110km	80.3km	45位	31km
整備率	86%	83%	33位	65%

(R4.3.31時点、全高速調べ)

一般道路（国道+県道）

	道路延長	整備済延長	道路整備率	全国順位	歩道設置済延長	歩道整備率	全国順位
奈良県	約2155km	約700km	約32%	46位	約614km	約28%	44位
国道(国管理)	約179km	約89km	約50%	33位	約90km	約50%	39位
国道(県管理)	約682km	約301km	約44%	44位	約214km	約31%	44位
県道	約1294km	約309km	約24%	47位	約310km	約24%	43位
全国平均(国道+県道)	約3950km	約2358km	約60%		約1716km	約43%	

※整備率＝整備済延長／実延長

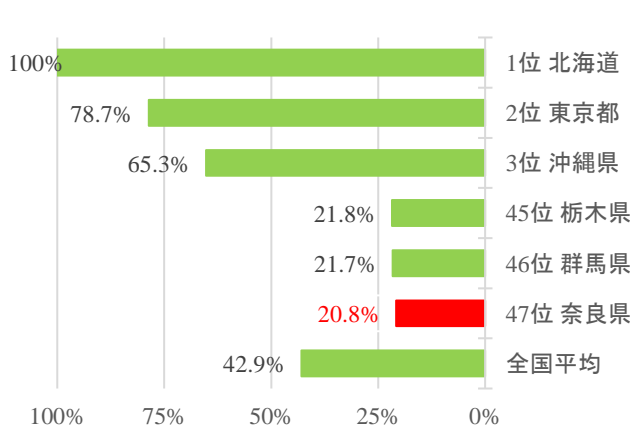
道路統計年報2021(R2.3.31時点)

整備済延長＝改良済延長(車線幅5.5m以上)－混雑度1.0以上の延長(車線幅5.5m以上)

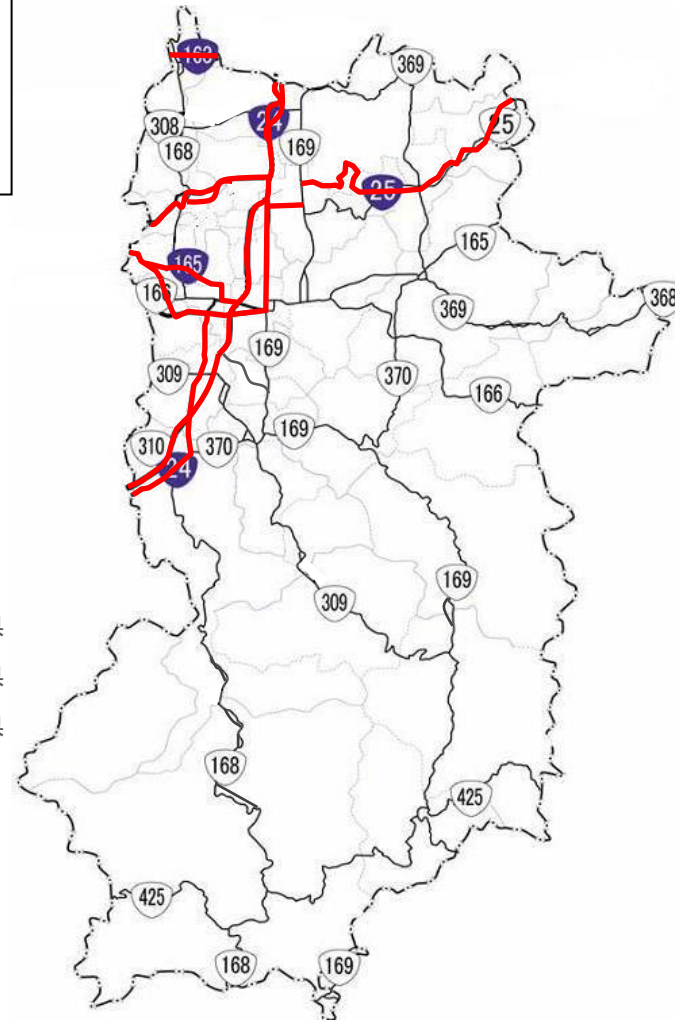
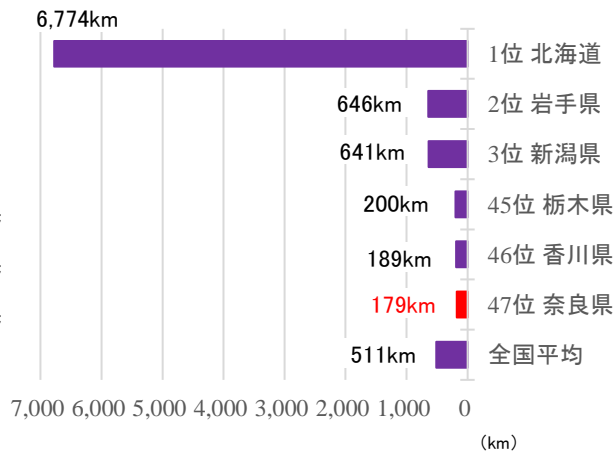
一般国道(指定区間)の延長

- 奈良県における一般国道に占める指定区間の割合は20.8%で全国第47位。
- 一般国道(指定区間)の延長は179kmで全国第47位。

一般国道全延長に占める指定区間の割合



一般国道(指定区間)の延長



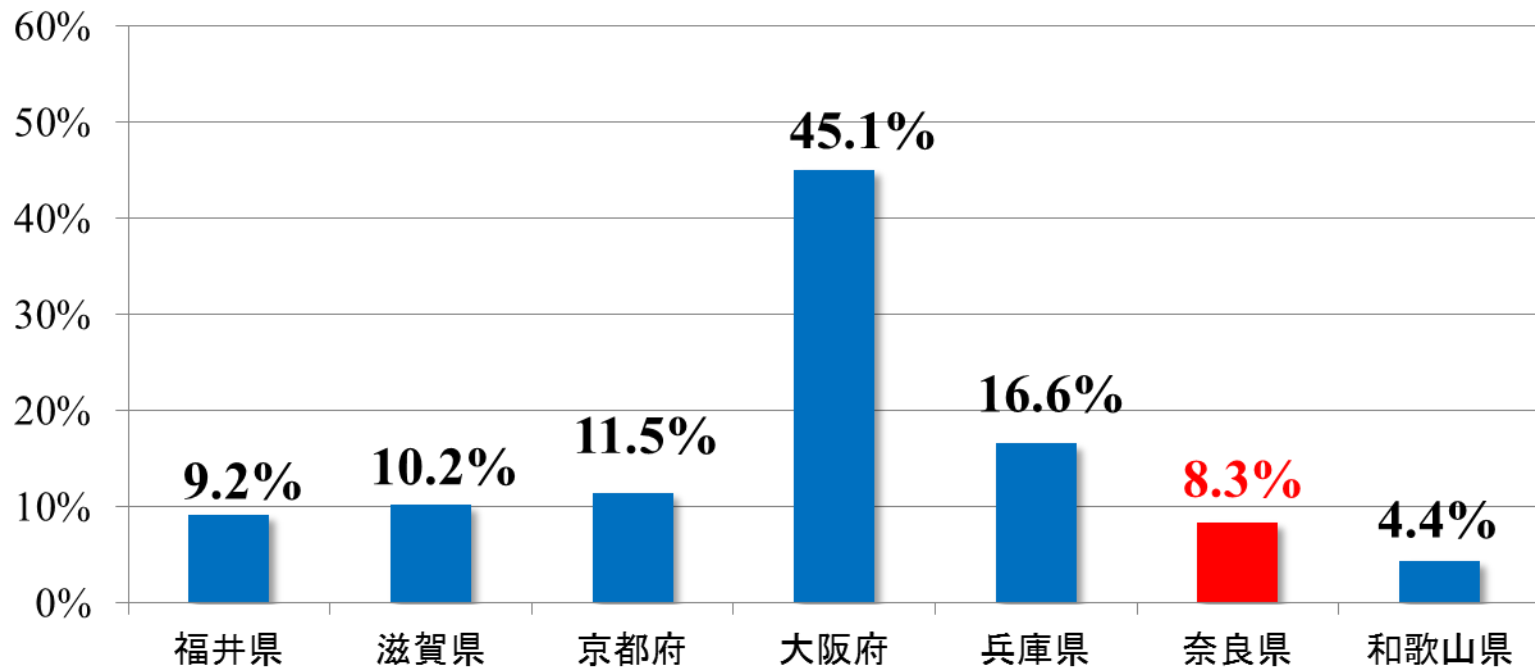
出典:道路統計年報2021
(令和2年3月31日現在)

凡例

- 一般国道(指定区間)
- 一般国道(指定区間外)

4車線道路の整備率

○ 奈良県の県道以上の4車線化率は約8.3%で、近畿圏内では和歌山県に次いで低く、近畿ワースト2位。



出典：平成27年度道路交通センサス

都市計画道路の整備率

○ 奈良県の都市計画道路の整備率は約48%で全国第43位。

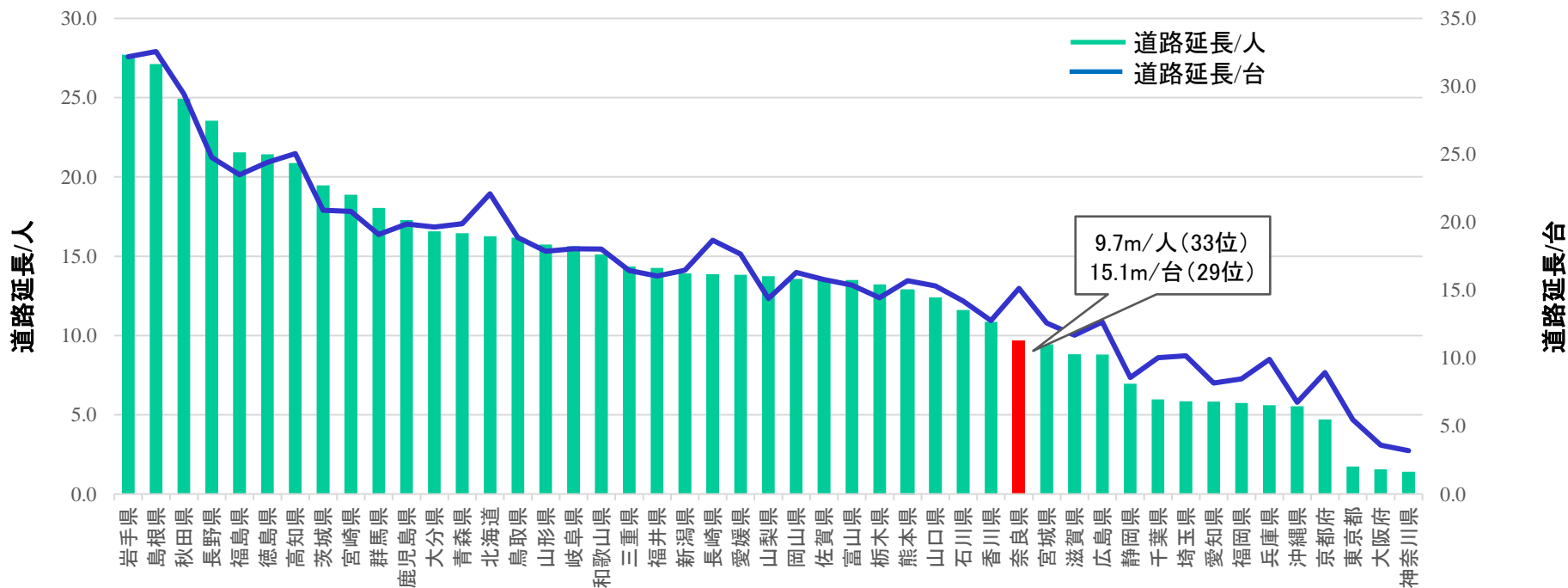
令和3年3月末現在

	全国	奈良県	全国順位
都市計画道路の整備率	約67%	約48%	43位
駅前広場の整備数	平均60箇所	68箇所	13位

出典:都市計画年報

県民1人あたりの道路延長

- 奈良県の県民1人あたりの道路延長は9.7m/人で全国第33位。
- 自動車保有台数1台あたりの道路延長は15.1m/台で全国第29位。

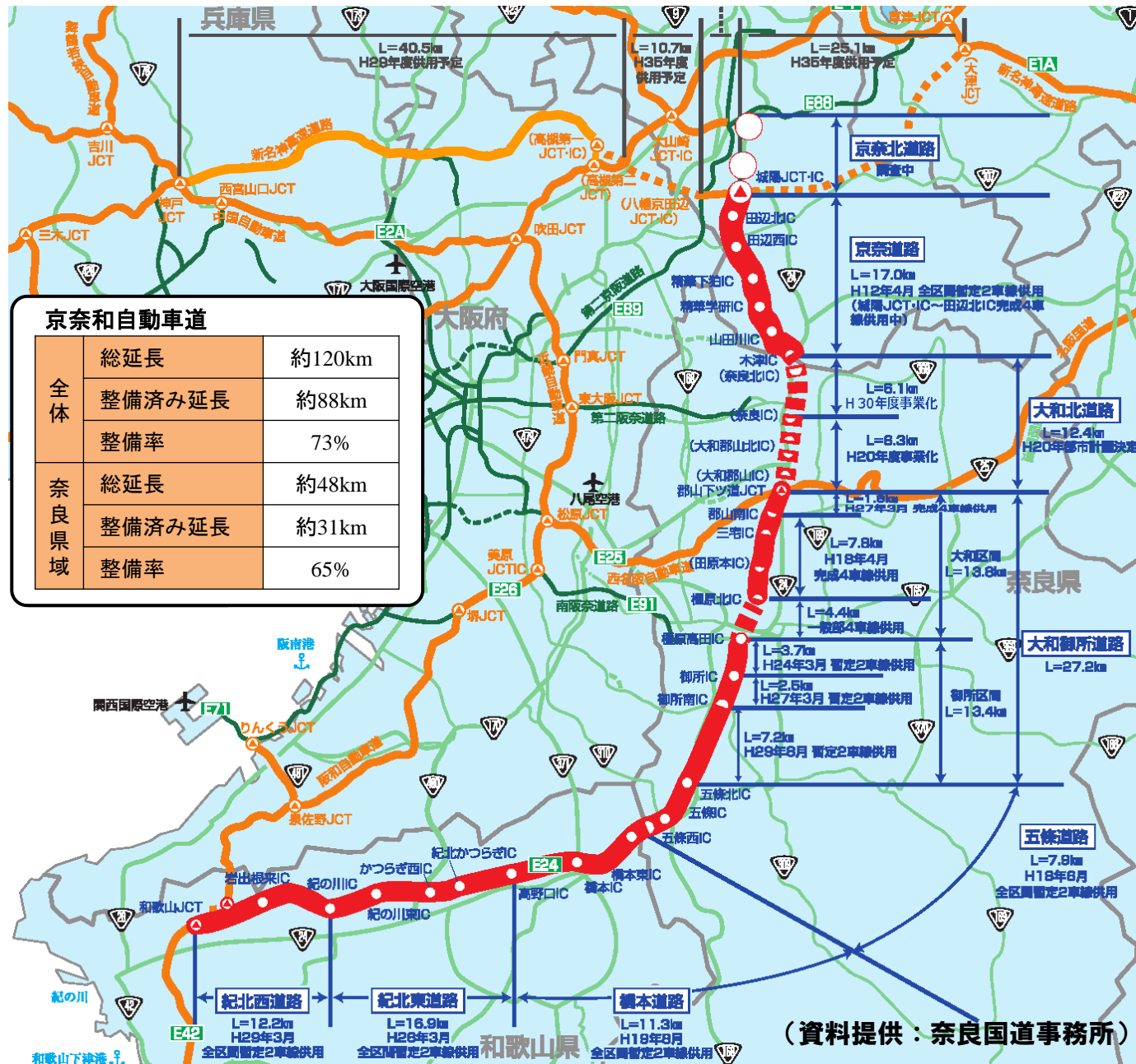


道路統計年報2021(令和2年3月31日時点)
 社会生活統計指標—都道府県の指標—2021年度時点
 自動車検査登録情報協会による統計(令和5年2月末時点)

紀伊半島アンカールート



京奈和自動車道の整備計画



京奈和自動車道		
全体	総延長	約120km
	整備済み延長	約88km
	整備率	73%
奈良県域	総延長	約48km
	整備済み延長	約31km
	整備率	65%

(資料提供：奈良国道事務所)

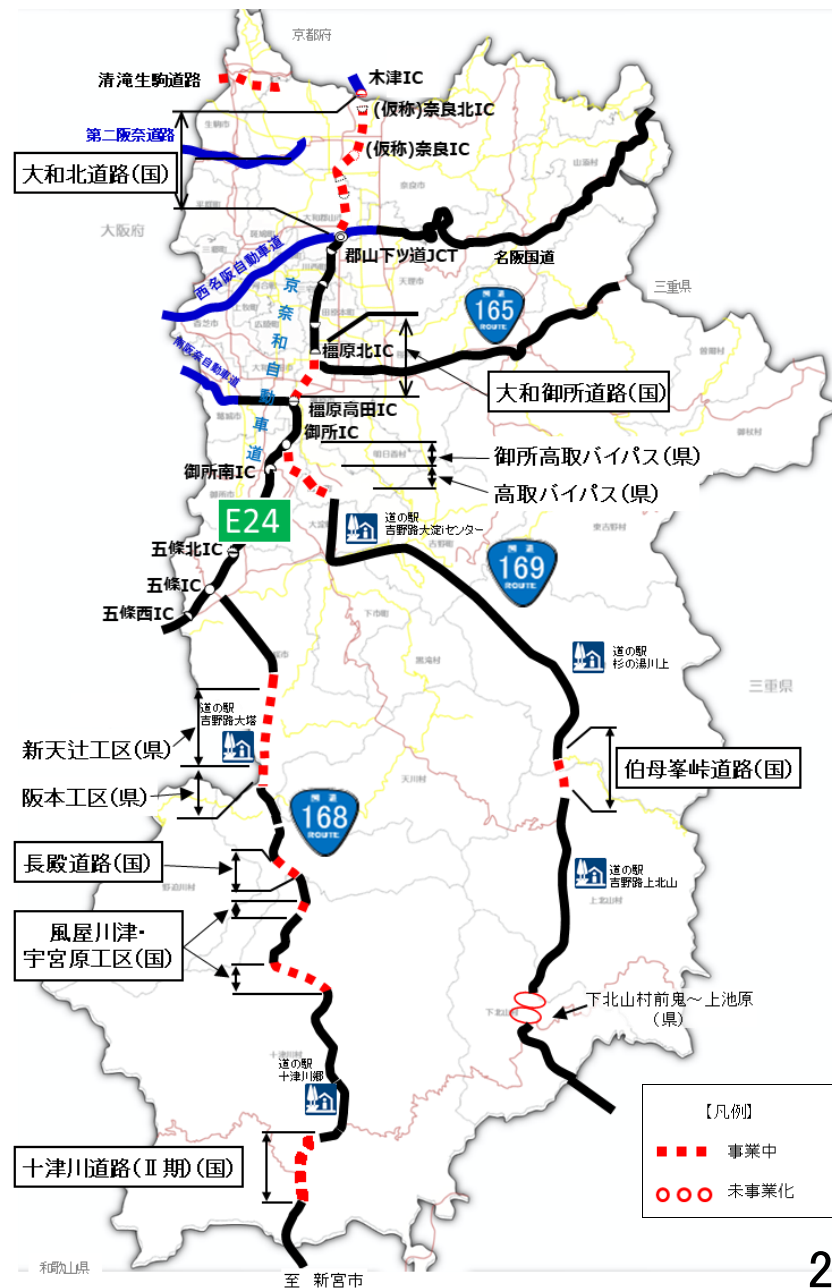
国道168号・国道169号の整備状況

<国道168号の整備状況>

- ・新天辻工区: 事業中(県)
- ・阪本工区: 事業中(県)
- ・長殿道路: 事業中(国)
- ・風屋川津・宇宮原工区: 事業中(国)
- ・十津川道路: R1.9 完成供用(国)
- ・十津川道路<Ⅱ期>: 事業中(国)

<国道169号の整備状況>

- ・下北山村前鬼～上池原: 調査中(県)
- ・御所高取バイパス: 事業中(県)
- ・高取バイパス: 事業中(県)
- ・伯母峯峠道路: 事業中(国)



通学路の安全対策

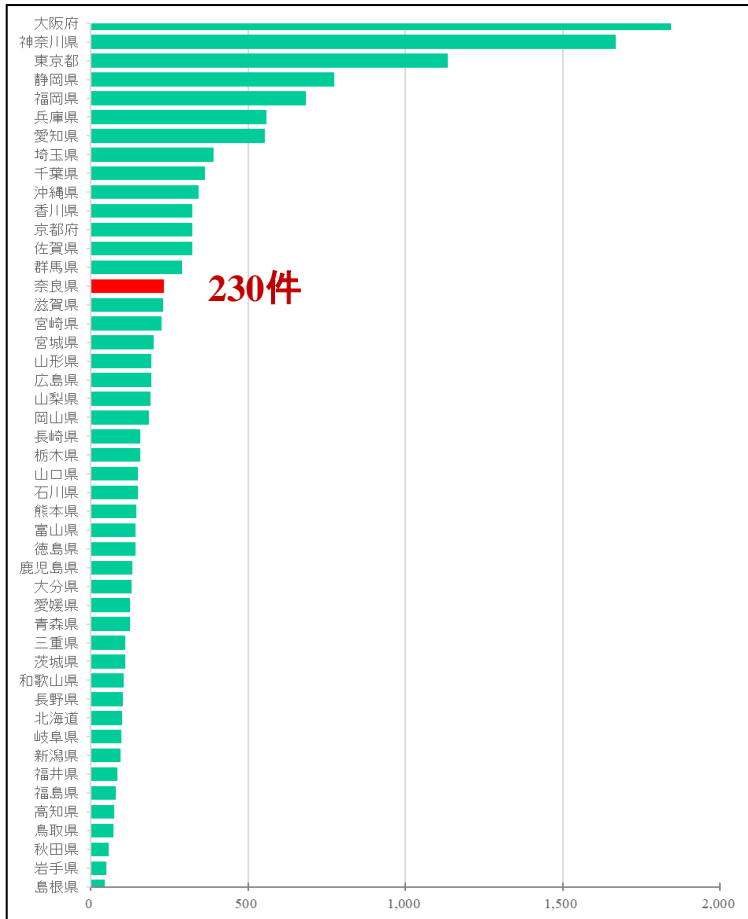
- 令和3年6月28日に発生した千葉県八街市で発生した交通事故を受け、通学通園路における安全総点検を国、県、市町村の関係者(教育委員会、道路管理者、警察)で実施し、危険箇所等を抽出
- 「奈良県通学路等安全対策推進会議」を設置し年2回の頻度で開催(R3.10.19～)

(R4.12末時点)

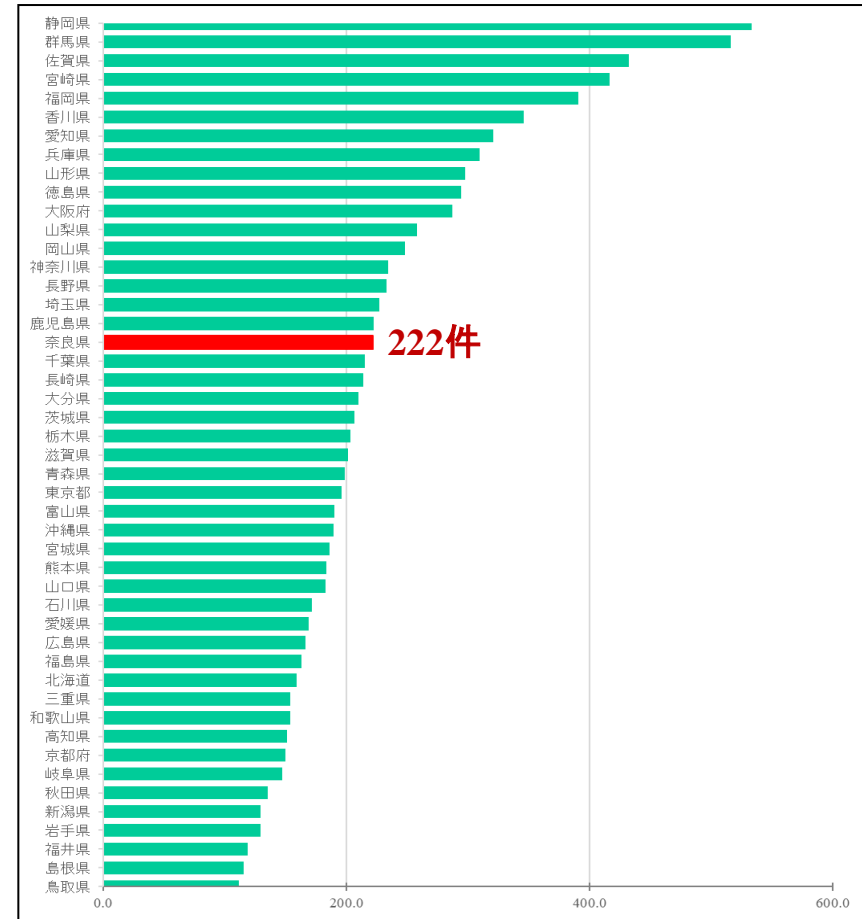
	対策必要箇所	対策済み箇所	整備率
奈良県	1,334	964	72%
全国	76,404	61,637	81%

交通事故の発生件数

○ 奈良県内の交通事故の発生件数は、道路延長1,000kmあたり約230件、人口10万人あたりでは約222件。



【道路延長1,000kmあたり発生件数(令和3年)】



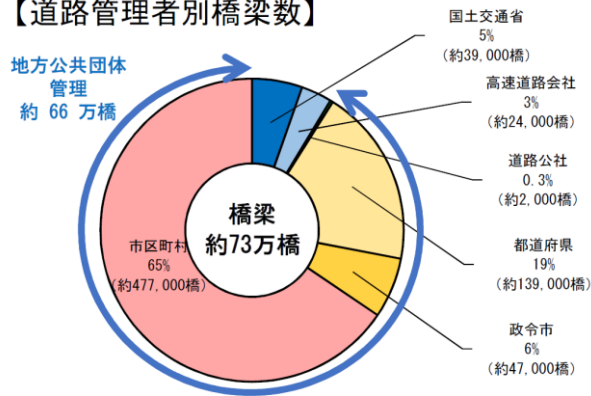
【人口10万人あたり発生件数(令和3年)】

インフラの老朽化

○ 奈良県では、2030年に架設後50年を経過する橋梁の割合が約6割となる。

■ 全国

【道路管理者別橋梁数】



【重大な損傷の事例(橋梁)】



建設後50年を経過した橋梁の割合(全橋梁)



■ 奈良県

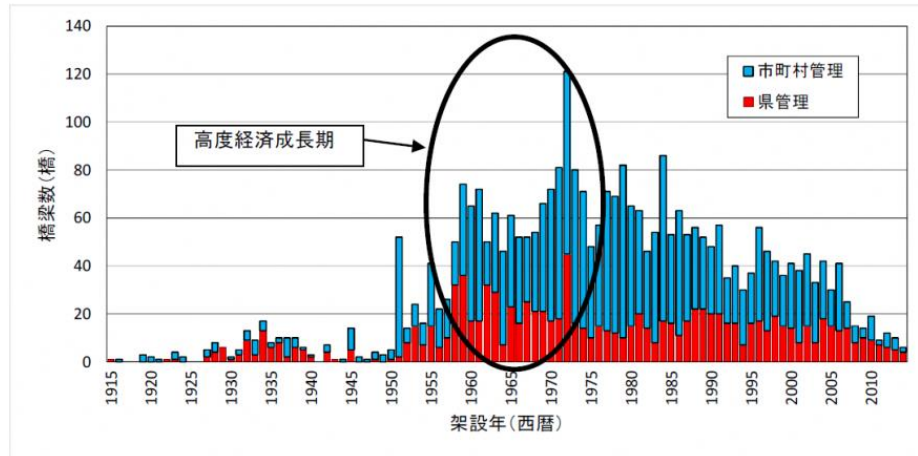
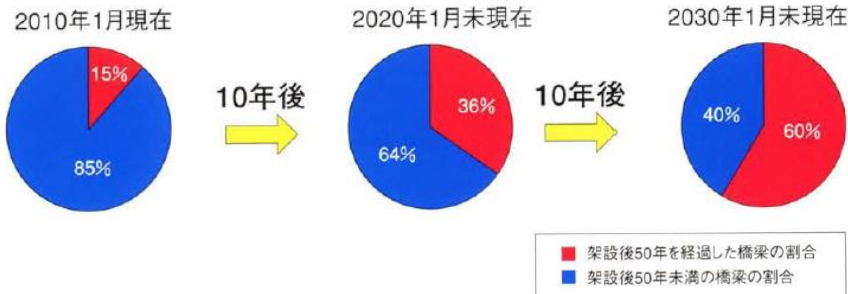


図 奈良県内の年次別架設橋梁数(県及び市町村) ※不明橋は除く



道路ストックの点検実施状況

(1) 橋梁

道路管理者	修繕等措置が必要な施設数	修繕着手済施設数	措置完了済施設数
全国 (地方公共団体計)	62,694	40,611 (65%)	28,589 (46%)
都道府県 政令市等	20,393	16,385 (80%)	11,168 (55%)
市区町村	42,301	24,226 (57%)	17,421 (41%)
奈良県 (市町村含む)	973	724 (74%)	504 (52%)
奈良県	223	223 (100%)	180 (81%)
市町村	750	501 (67%)	324 (43%)

(2) トンネル

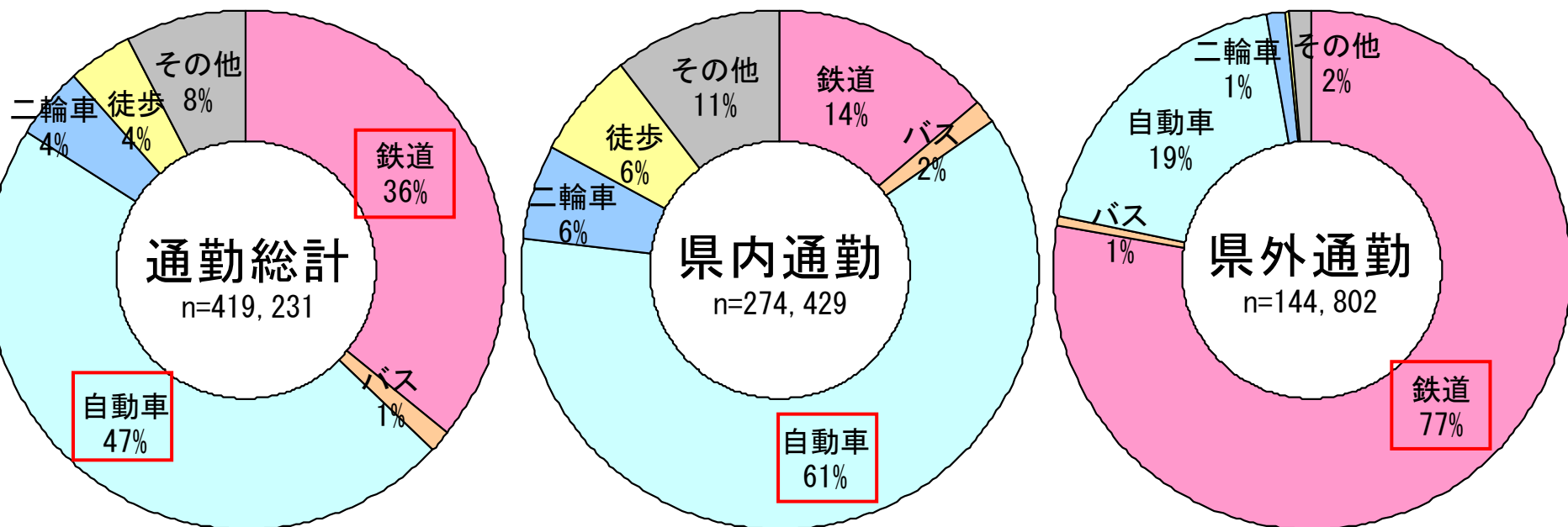
道路管理者	修繕等措置が必要な施設数	修繕着手済施設数	措置完了済施設数
全国 (地方公共団体計)	3,205	2,728 (85%)	1,991 (62%)
都道府県 政令市等	2,342	2,210 (94%)	1,656 (71%)
市区町村	863	518 (60%)	335 (39%)
奈良県 (市町村含む)	54	53 (98%)	23 (43%)
奈良県	42	42 (100%)	18 (43%)
市町村	12	11 (92%)	5 (42%)

(3) 道路附属物等 (※横断歩道橋、ロックシェッド、門型標識等)

道路管理者	修繕等措置が必要な施設数	修繕着手済施設数	措置完了済施設数
全国 (地方公共団体計)	3,955	3,003 (76%)	2,111 (53%)
都道府県 政令市等	3,251	2,540 (78%)	1,757 (54%)
市区町村	704	463 (66%)	354 (50%)
奈良県 (市町村含む)	53	44 (83%)	34 (64%)
奈良県	38	38 (100%)	29 (76%)
市町村	15	6 (40%)	5 (33%)

県内・県外通勤の交通機関分担の割合

- 総通勤者の約4割が鉄道・バス、約5割が自動車・二輪車を利用。
- 県内通勤者の約6割が自動車を利用。
- 県外通勤者の約8割が鉄道を利用。



資料: 第5回パーソントリップ調査(H22)

鉄道・船舶による貨物輸送量

○ 物流手段を100%自動車に依存している全国唯一の県であり、自動車輸送の根幹となる幹線道路の整備は極めて重要。

H28年度鉄道・船舶貨物輸送量 (単位:千トン)

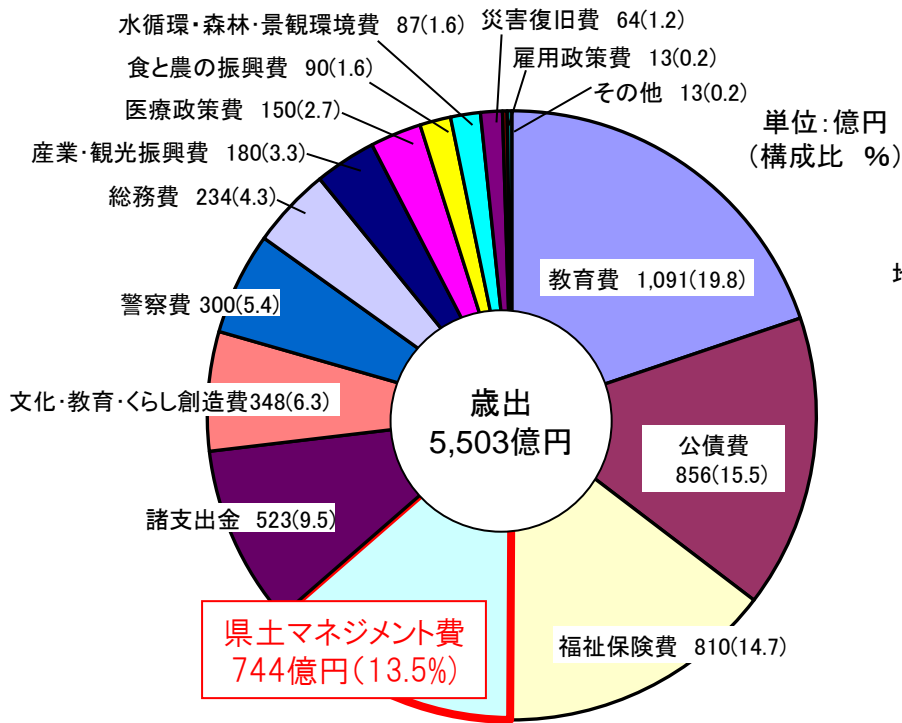
	JR貨物 発着量	港湾取扱貨 物量(国内)
東京	5,401	33,973
神奈川	5,393	73,452
北海道	5,126	63,031
福岡	3,596	65,283
愛知	3,302	65,689
大阪	3,167	54,168
三重	3,081	24,300
埼玉	2,846	—
宮城	2,452	22,753
栃木	2,051	—
千葉	1,974	80,360
長野	1,969	—
...
大分	162	48,568
福井	159	4,635
徳島	111	5,397
高知	68	16,098
長崎	59	13,757
島根	43	2,171
滋賀	—	227
沖縄	0	15,320
奈良	0	—



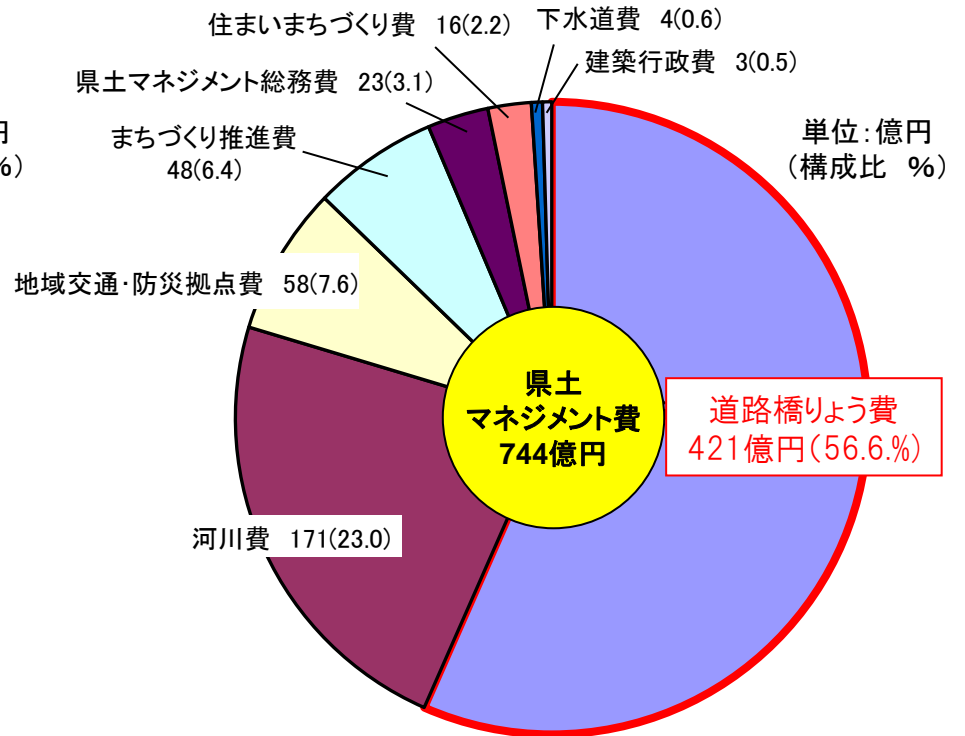
令和4年度当初予算の内訳

- 奈良県の歳出額のうち、県土マネジメント費は約13.5%
- 県土マネジメント費のうち、道路橋りょう費は約57%

＜一般会計＞



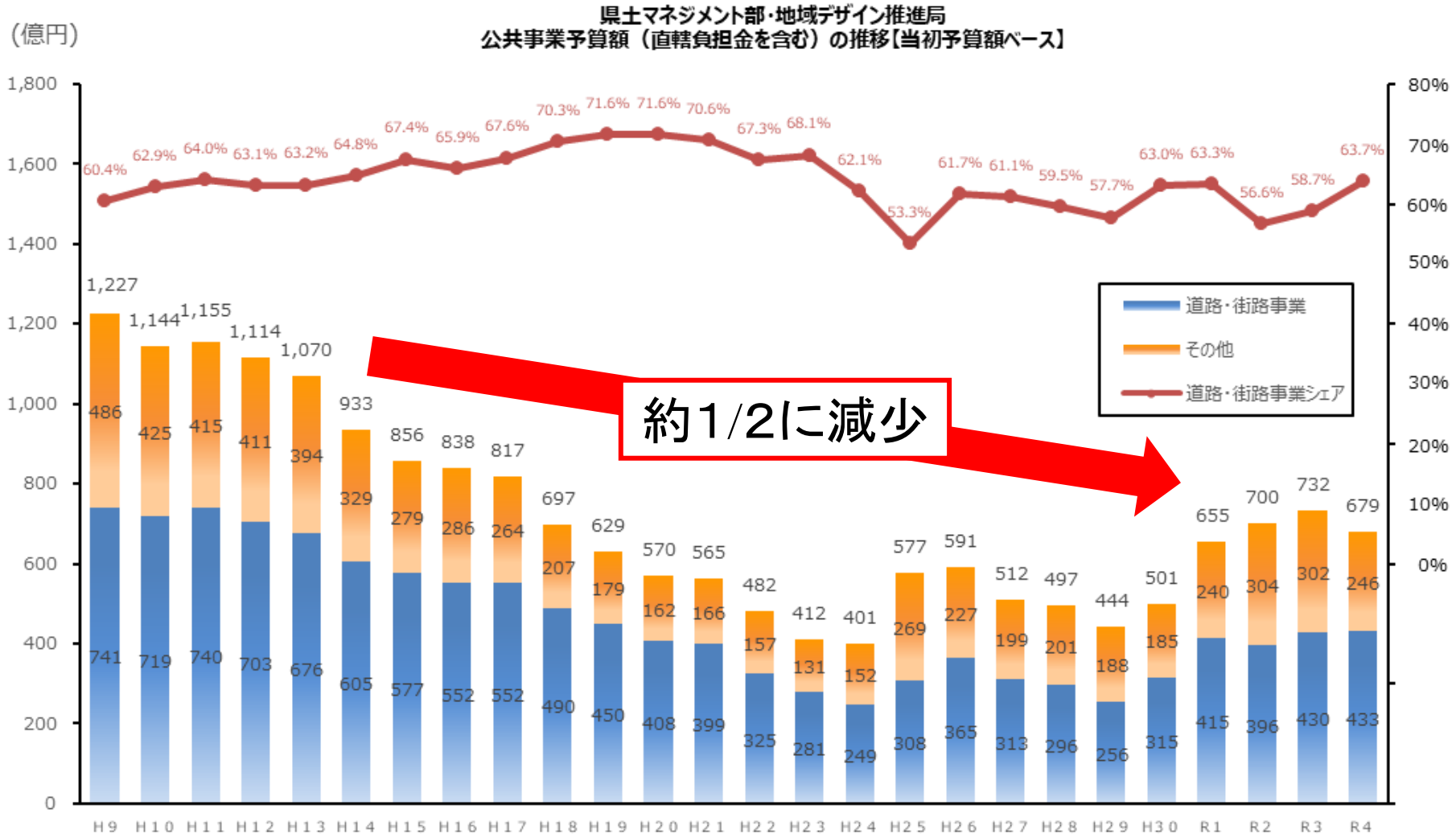
＜県土マネジメント部 および まちづくり推進局＞



奈良県の公共事業予算額(一般会計)

○ 奈良県の令和4年度公共事業予算は、平成9年度から約1/2に激減

※ 直轄事業負担金含む



※当初予算額ベースで作成。(平成19・23・27年度、令和元年度予算は6月補正後の額。平成21・25～30年度、令和1～5年度予算は平成20・24～30年度、令和1～4年度2月補正を含む額。)公共事業(一般公共事業、単独公共事業)及び直轄事業負担金の合計額で作成(平成23年度は災害復旧関連を除く)。四捨五入の関係で、各計数の和が一致しないところがある。